

●生協基幹運営／地域活動 ・ 催し● ・ 12/3(土) バター作り＆おしゃべり交流会(牛久地区) ・ 12/7(水) 平和の集い「私たちのくらしと憲法」 中止 ・ 12/17(土) どんぐりてい大豆PJT＆援農交流会	●提携 ・ 協同企画● ・ 12/4(日)関東子ども健康調査支援基金年次活動報告会
--	--

●私たちが出来る事

①食料支援：常温管理できる食品の寄付

- 常温で管理できるもので未開封、賞味期限がなるべく2か月以上残っているもの。
- 賞味期限の表示を事前によくご確認ください。
- 缶詰・レトルト食品などすぐに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。
- お米（精米、玄米）を寄付する時は事前に害虫等の発生等のないことをご確認ください。
- お酒類、健康食品、ペットフードは受付しておりません。

★供給便、きずなBOXにて回収いたします。

日程：11/28(月)～12/16(金)

- きずなBOXの設置場所
 - 生協本部入口の1階ロビー
 - 戸頭店
- 供給便での回収
 - 期間中の供給時に供給担当にお渡しください。
 - 大きな物（お米30kg袋・段ボール箱に入っている物など）は、トラックに載せきれない場合がありますので、事前に生協本部までご連絡ください。

②手作り味噌パック詰め作業

常総生協では昨年より、みそ講習会で手作りした味噌を小分け・真空パックにして、寄付しています。

日程：

12/12（月）10時～12時 13時～15時

12/13（火）10時～12時 13時～15時

場所：常総生協本部2階 調理室



③活動支援金を寄付する

食料をお届けするために必要な梱包資材、運送費などに充てます。

- JOSOたすけあい基金より寄付を行います。
 - NPO法人フードバンクちば
 - 協同組合ネットいばらき
- 12月1回、12月2回注文時に特別支援をお願いします。
 - JOSOたすけあい基金：ご注文の際、注文番号500253(1口500円)でお受けしています。
 - 今回の支援金の一部を次年度に支援する予定の「手づくりみそ」の材料の購入代金に充てさせていただきます。
 - また、支援用の「手づくりみそ」の仕込みの日程も後日ご連絡いたしますのでご協力をお願いします。

②に参加される方は以下の申込用紙にご記入の上、供給便またはFAX（0297-45-6675）で、提出お願いいたします。

子ども支援プロジェクト2022冬・県内大学生食の支援の作業・ボランティアに参加します

※締め切り：12/9までにお申込み下さい。[常総生協HP](#)にも掲載しています。

組合員氏名； _____ 組合員番号； _____

日中連絡が付く連絡先； _____

★参加される作業に✓をお願いします

☐ 手作り味噌パック詰め作業に参加します（参加できる日程に✓をお願いします）

☐ 12/12（月）10時～12時 ☐ 12/12（月）13時～15時

☐ 12/13（火）10時～12時 ☐ 12/13（火）13時～15時

※供給便での食料支援、寄付に関しての申し込みは必要ありません。

常総生協2022年度の活動のテーマ「つくると食べるでつながろう～私たちの地産地消～」です。新型コロナウイルスの影響で、この2年間、常総生協では生産者と組合員の交流の場が持てませんでした。常総生協と言えば、生産者が近く、生産者と組合員の顔が見える環境で、直接生産者と話し、作る楽しさや難しさを理解・共感し合えるのが魅力です。そこで本年度は、職員で地産地消（農産・水産・畜産）チームを結成。生産者と組合員をつなげる活動をしています。

私たちは野菜チームとして、まずは交流の場を復活させることを第一とし「今年で100名の組合員を畑に連れていこう！」という目標のもと援農交流会を継続しました。

野菜チーム活動まとめ（2022年6月～11月）

生産者	場所	開催数	作業内容	参加組合員のべ人数
清水農園	坂東市生子	2回(6/25、9/17)	じゃがいも堀り、人参、レタスの除草作業	21名
青木農園	坂東市沓掛	3回(7/2、9/3、11/12)	じゃがいも堀り、玉ねぎの種まき、畑の除草作業、アロイトマト（固定種）の種採り見学、サツマイモ堀り・仕分け	34名
どんぐりてい	坂東市弓田	3回(6/4、8/6、8/25)	長ネギの除草作業、金ゴマ播種、ゴマの葉取り・花摘み、ゴマの刈り取り	37名

○援農交流会を行なって感じた事

- 3生産者とも共通している課題が「人手不足」であること。除草作業が追いつかない、野菜の収穫時期を逃すなど様々な課題があることに気づきました。
- 約3年ぶりの産地交流会だった為、生産者、組合員の交流の場となりました。常総生協の強みである「顔の見える生産者」とのきずなを感じる活動になりました。
- 援農活動、交流会を同時に行う難しさを感じました。野菜は天候に左右されやすく、生産者が本当に人手が欲しい時に援農を行えない事例がありました。

○来年度に向けて

- 生産者の課題に向き合い解決策を考えていきます。
- 野菜サポーター制度の実施をしていきます（青木農園で実施。現在6名登録）
- 組合員と一緒に広報活動をし、認知度を上げていきます。



青木農園



どんぐりてい



清水農園

野菜チーム(平井、伊原、阿部、加藤、坂田、滝本、渡邊、入江、稲垣、倉田、丸山、小宮山)

【緊急署名】原発の運転期間延長に反対する署名のお願い

経済産業省は、GX（グリーントランスフォーメーション）の一環として、原発の運転期間の延長を打ち出しました。それを受け、原子力規制委員会は、10月5日、原発運転期間を原則40年と定めた原子炉等規制法の規定の削除を容認する意向を示しました。この中には東海第二原発も含まれています。

2011年の福島第一原発事故後、常総生協としては二度と原発事故はあってはならない、人々のいのち、くらしが守れないエネルギーに頼ってはいけません、安心・安全な食の活動ができない、「平和」「安全」この2つがあって「食はいのち」を掲げて活動できる、ということを再認識し、脱原発を宣言し、東海村にある日本で一番古い原子力発電所の東海第二原発を動かさないために差止訴訟をしています。

▽オンライン署名はこちら▽



今回はFOEJAPAN(※1)の取り組みに賛同し、共に「原則40年」規定の削除方針の撤回を求める取り組みをしていきたいと思います。組合員さんも共に声を上げて止めていきましょう！

☆署名締切：生協提出の場合は**12月23日（金）**までとします。

※1)FoE Japan（エフ・オー・イー・ジャパン）は、地球規模での環境問題に取り組む国際環境NGOです。世界73カ国に200万人のサポーターを有する Friends of the Earth International のメンバー団体として、1980年から日本で活動をしています。

（伊藤専務理事）

第4回どんぐりてい大豆の収穫&援農交流会 参加募集のお知らせ！

続いて、どんぐりていチームから援農交流会のお知らせとなります！これまで、ごまの播種から収穫、長ねぎ畑の除草などを実施してきました。今回は早くも第4回目となり、来年のみそ作り用に使う大豆の収穫をお手伝いします！寒空の下での作業になるかと思いますが、普段できない経験もあるかと思うますので参加してみませんか？今回から参加する方も大歓迎です！！今回募集する内容は以下を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。

※雨天延期、小雨決行

生産者	場所	日時	作業内容
どんぐりてい	坂東市弓田289-2	12/17(土)10:00～12:00	大豆の収穫・長ねぎ畑の除草 等

【定員】最大15名程度

【用意するもの】長靴、帽子、軍手、水筒、マスク、動きやすい服装

【参加費】無料

【申込締め切り】12月9日（金）

【当日の連絡先】参加者に追ってお知らせします。

※当日発熱や体調不良などの症状がある方は、参加をご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

-----キリトリ-----

地産地消 野菜チームの援農に参加します

生産者名・日時：どんぐりてい 12/17(土) 10:00～12:00

組合員番号：_____ コース名：_____

組合員名：_____

参加人数（大人 _____ 名／子供 _____ 名）

★電話でのお申込みは 本部 0120-900-571

★QRコード／注文書／インターネット等のご意見欄に記入してもOKです！

